



1\_葉の幅は1cm程度。  
両面にうっすら毛が生えている 2\_葉は冬にロゼット状になる 3\_花びらの色は黄橙色、花の中央部も同じ色をしている

## オオキンケイギク

*Coreopsis lanceolata*

キク科 / 多年草

花はとても愛らしく、元々はその美しさから河川敷の緑化用のワイルドフラワーとして導入された。環境の悪い荒地でも育つことから重宝されたが、逆にそのキク科特有の繁殖力の強さと環境適応力から、またたく間に日本全土に広がった。茎は長く、一見するとそれほど強そうには見えないが、葉や根が強靱。このオオキンケイギクが生えている場所では、他の在来植物が育つことができない環境になっている。



### 見分け方の特徴

- ◎ 花びらの先が4～5つに分かれる
- ◎ 葉は細長いスプーン状。  
冬はロゼット状になる
- ◎ 葉の周囲はなめらか  
やや肉厚で両面に粗い毛がある

原産	北アメリカ
背丈	30～70cm
繁殖期	5～7月
富士山侵入地点	富士一合目まで
侵略経路	1980年代に観賞用や河川敷の緑化などに用いられ、広がった
除去方法	開花初期の5月頃が狙い目。根から抜き取り、枯死させたのち、燃えるゴミで処分可。種子をつけた時期の除去は種子を広げてしまい逆効果になるため、避けること。

間違えやすい  
在来植物

### キバナコスモス



花は似ているが開花時期がこちらは秋で、葉に細かい羽状の切れこみがある。